

東京

# 医療法人財団 岩井医療財団 岩井整形外科内科病院

## 1 施設の概要

岩井整形外科内科病院は、平成2年から東京都江戸川区の小岩に開設している60床の病院です。

開設以来、整形外科に特化しており「低侵襲手術」に重点をおいております。中でも腰椎椎間板ヘルニアの内視鏡手術、腰部脊柱管狭窄症の内視鏡手術件数は小規模病院でありながら全国で1・2を争う症例数であります。



(左から) 岩堀医師、高野医師、稲波院長、馬場医師

## 2 理念・方針

### 理念

「岩井整形外科内科病院は、医療を通じて患者さんの幸せに資することを目的とします。」

### 基本方針

1. 患者さんに優しく安心な、低侵襲の治療を行います。
2. 患者さんが意思決定できるよう、適切な情報開示を行います。
3. 継続的に治療実績を含めた医療内容を評価・開示し、技術・能力が集まる環境整備を行います。
4. 地域・患者さんのニーズに応えるため、健康・福祉・医療機関との緊密な連携を図ります。

## 3 画像診断機器

“より良い機械はより多くの情報を伝えてくれ、医師の判断を助けてくれる”との院長の考えから、当院では画像診断機器やその他医療機器も最先端のものを揃えております。これらは質の高い医療を提供するためには欠かすことができないものであると言えます。

## 3.1 MRIトラクトグラフィー

平成23年にはMRIのバージョンアップを行い、トラクトグラフィー（神経線維画像）の撮影が可能となりました。そして、当院独自の合成画像を開発しました。この画像によって椎間孔内外の病変の診断がより精緻となり、手術に際しての適応（切除部分）の決定に対してより有効な情報を得られます。

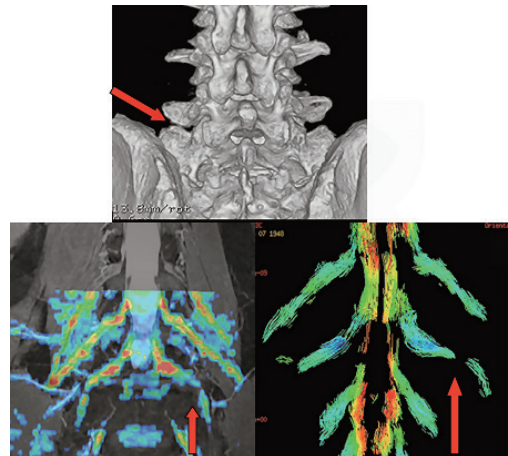


図1 画像診断症例  
左下図は当院で開発したフュージョン画像

## 3.2 PET-CTによるSSI（手術部位感染症）の早期診断

当院ではPET-CTによるSSIの早期診断とこれによる精密な部位方法診断を行っています。

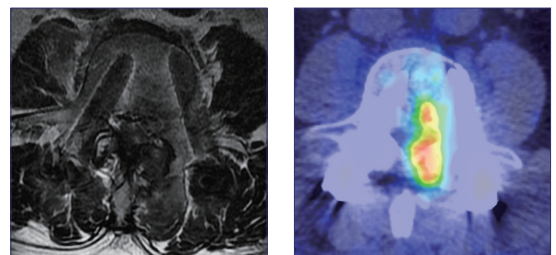


図2 左側がMRI、右側がPET-CTの画像。PET-CTだと感染部位が早期にかつ明瞭に診断できる。

### 3.3 X線テレビシステム

平成25年3月に導入した最新鋭X線テレビシステムでは、最大2,880×2,880マトリクスの超高精細画像によって、より微細な構造の観察が可能となりました。断層撮影が可能であり、金属があってもノイズの引かれぬ断層像や立位での脊髓造影断層などができるようになりました。これらによって、更に検査領域の幅が広がりました。

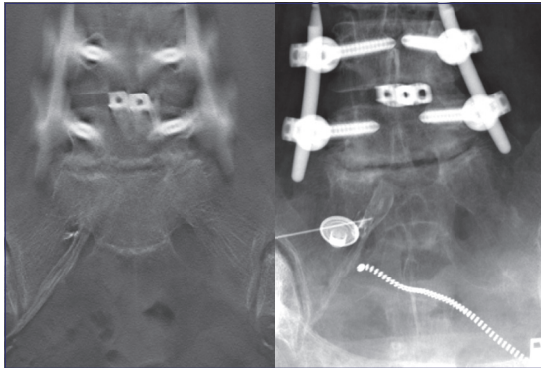


図3 左側、腰椎固定術のトモシンセシス画像  
右側、神経根ブロック写真

## 4 整形外科の診療実績

平成24年の手術件数を表1に示す。

表1 平成24年の手術件数(2012年1～12月)

手術名	件数
PLDD(経皮的レーザー椎間板減圧術)	18
enSpire(経皮的椎間板粉碎・切除術)	8
MED(内視鏡下椎間板摘出術)	554
MECD(内視鏡下頸椎椎間板摘出術)	1
PELD(経皮的内視鏡下椎間板摘出術)	17
MEL(内視鏡下椎弓切除術)	292
MECL(内視鏡下頸椎椎弓切除術)	91
ME-PLIF/TLIF(内視鏡下椎体固定術)	221
RF+PN(経皮的ラジオ波椎間板焼却・摘出術)	7
その他(脊椎)	55
その他(脊椎以外)	15
形成外科	164
合計	1,477

## 5 施設の特徴、その他

基本方針でも掲げているように、当院の特徴として「情報開示」と「低侵襲手術」があげられます。

当院では、患者さんの安心と信頼を高めるため、さまざまな情報提供を積極的に行っております。X線写真はもちろん、CTやMRI、血液検査などの臨床データを患者さんに開示しており、セカンドオピニオンも得られます。

また、患者さんのご希望があれば、インターネットによる診療情報の公開、レントゲン画像のCDでのお渡し、診療録の印刷なども行っております。

内視鏡手術については一部始終をビデオ録画していますので、術後に編集・修正一切なしの状態でご覧いただけます。

重点を置いている低侵襲手術については、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症など年間1,200件に上ります。症例数を重ねた結果、医師は診断も的確になり、手術も迅速且つ正確に行えるようになりました。例えば腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術では、当院の医師は誰もが30～40分程度で手術を終えることができます。手術時間の短縮は患者さんの負担を軽減し術後の回復の早さにもつながり、平均在院日数も年々短縮されてきております。

\*厚生労働省発表 平成22年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」より

【手術患者数の多さ】

椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症ともに全国1位

【在院日数の短さ】

椎間板ヘルニア全国4位、脊柱管狭窄症全国1位

当院での手術希望患者数は年々増加しており、手術患者の居住地分布におきましても、東京都以外の患者比率が50%程度と高い比率を保っております。

今後も「患者さんの幸せに資する」ことを目指し、より質の高い医療を提供できるように医師をはじめとした職員が一丸となって取り組んでいきたいと存じます。

(岩瀬 実)

概要	
名称	医療法人財団 岩井医療財団 岩井整形外科内科病院
理事長	稲波弘彦
標榜科目	整形外科、形成外科、リウマチ科、 麻酔科、リハビリテーション科、 放射線科、内科、消化器内科、 循環器内科、呼吸器内科